

① はまなか

議会だより

NO128

平成31年4月25日発行



元気にお返事（浜中保育所入所式）

3月定例会

予 算 議	新規就業者の実績と労働力の確保は	4P~9P
	委員会レポート	11P
一 般 問	5人の議員が町政を問う	13P~17P
	雪中翠（田中 春菜さん）	18P

防災機能を備えた

新庁舎建設工事着々と進行

本年度は本体工事に着手し、事業費8億1329万円を計上

3月
定例会
6日～13日

平成31年第1回定例会が3月6日から、8日間（休会日2日含む）の会期で開かれました。町長から町政執行方針、教育長から教育行政執行方針が示され予算審議など活発な議論が展開されました。今定例会には、平成30年度の補正予算をはじめ、平成31年度当初予算および条例の制定など32議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。また、一般質問では5人の議員が登壇しました。

新年度も政策の柱を継続

- 地域を支える地場産業の振興
- 災害に強いまちづくり
- 若い世代への子育て支援の充実

〈主な施策〉

- 一、新庁舎建設事業
- 一、霧多布避難道等建設工事
- 一、茶内支所耐震改修工事
- 一、茶内保育所改築工事（2年目）
- 一、後継者就業交付金事業（継続）
- 一、ウニ種苗センター実施設計委託
- 一、公営住宅新築工事
（浜中団地2棟目）
- 一、町民温水プール改修工事
（2年目）



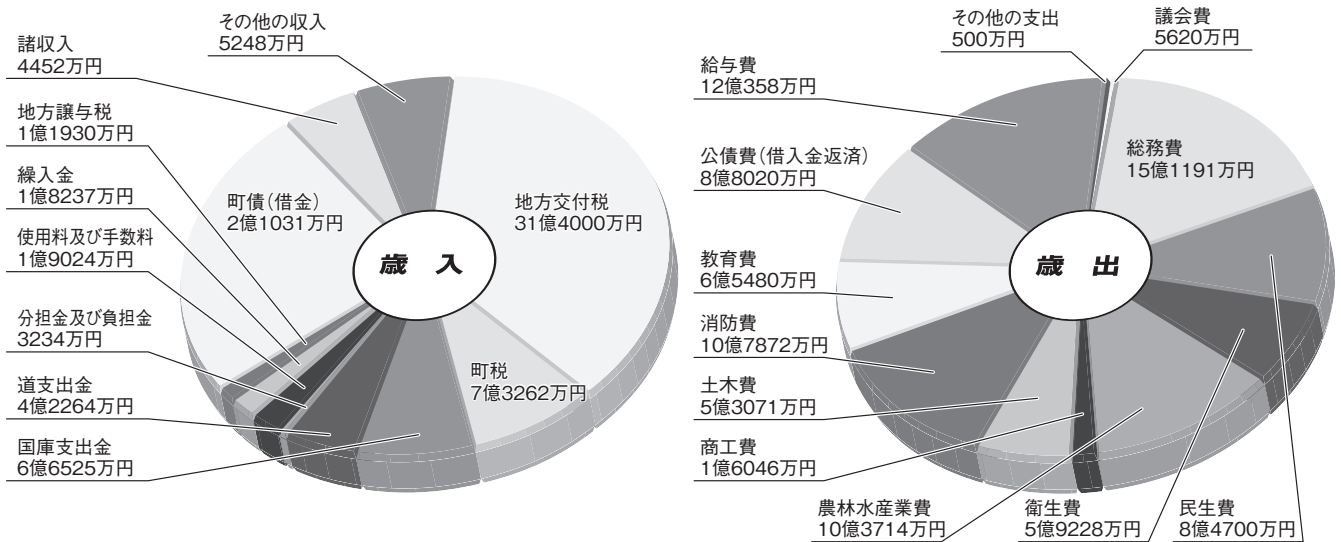
新茶内保育所（6月から供用開始）

予算の概要

平成31年度の一般会計予算

総額85億5803万円に

平成31年度一般会計内訳



平成31年度各会計の当初予算

会計別	歳入歳出予算額		増減率 (%)	一般会計からの繰出金			
	平成31年度	平成30年度					
一般会計	85億5803万円	74億8969万円	14.3				
特別会計	国民健康保険	11億2171万円	11億3630万円	△ 1.3	4340万円 ←		
	後期高齢者医療	7470万円	7862万円	△ 5.0	2095万円 ←		
	介護保険	4億6118万円	4億7425万円	△ 2.8	6765万円 ←		
	浜中診療所	2億6341万円	2億5412万円	3.7	1億3885万円 ←		
	下水道事業	3億7823万円	4億488万円	△ 6.6	2億6975万円 ←		
合計	108億5726万円	98億3786万円	10.4	5億4060万円 ←			
企業会計 (企業会計とは、民間企業と同じような経理を行う会計です。)							
	収入	支出	収入	支出	増減率 (%)		
水道事業	収益的	1億8937万円	1億8937万円	1億9210万円	1億9210万円	△ 1.4	
	資本的	3744万円	8650万円	3809万円	8907万円	△ 2.8	一般会計からの補助金 4899万円 ←

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額4906万円は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。

予算審議から

新規就業者の実績と 労働力の確保は

問 後継者対策として町独自に就業交付金制度を創設し3年目となる。

31年度予算は、農業420万円・漁業1320万円・商工業180万円であり、実績と効果は。

農業は、研修生育成支援として、研修牧場・経営技術研修受入事業への助成。就業後の経営支援は、誘致事業補助・次世代人材投資事業補助などにより着実に実績を積み上げて来た。ただ、近年は研修生の確保や研修終了後の就農先が難しい状況にあるが、過去3年間の推移は。

また、経営の大規模化に伴い労働力不足も懸念材料であり、さらに酪農ヘルパーの人材も不足している。新規就農者および雇用労働者の確保に向け、新たな取り組みを考える必要があると思うが。漁業は、就業交付金制度

を受け後継者が増えつつある。ただ、漁港などの施設整備や漁業生産に係る支援はあるが、担い手育成対策としては漁業研修所での研修費助成くらいである。

漁業においても労働力不足は深刻な状況であり、農業のように働きながら研修ができる漁業版の制度設計が求められるが。

さらに、喫緊の課題が労働力確保であり、外国人就労者誘致に向けた具体的な取り組みが必要と思うが。

答 就業交付金制度の実績は下表の通りであり、その効果が現れつつある。

農業施策は、早くから農家戸数・農業人口の維持確保を目的にした浜中町農協の主体的な取り組みに対し支援してきた。ただ、近年は他町村が同様の対策を実施しており、研修生の確保が厳しい状況である。

また、新規就農者が全体の20%超となり経営者の平均年齢も約50歳となるなど離農件数が減少する中、跡地での就農も難しくなり、ここ3年間の推移は平成28年度5件・29年度は0件・30年度1件である。

大規模化に合わせ先進機器の導入など省力化を図っているが、労働力の確保は外国人研修生が担っている現状もある。

今後、農協など関係機関と連携し農業人フェアや就農相談会でのニーズ調査を基に、新たな取り組みを模索して行きたい。

漁業施策は、農業と比べ、不十分な状況にある。昨年、北海道水産会が年2回実施している「漁業就業支援フェア」に漁協関係者と共に参加し担い手確保の研修を重ねている。漁協が主体となるが、共に協議・検討する中で支援策を考えて行きたい。

労働者の確保は、一次産業だけではなく、建設・運送業や介護、さらには町職員など全ての業種に共通している問題である。人口減少がもたらす種々の課題に対しては、国政レベルでの取り組みが必要である。働き方改革・入管法の改正などの動きを注視しながら関係団体と相談・協議を重ね対策を検討して行きたい。

就業交付金制度の実績

	29年度	30年度	31年度	合計	内、Uターン者
農業	3人	3人	1人	7人	2人
漁業	6人	12人	4人	22人	9人
商工業	2人	0人	1人	3人	2人

航路浚渫の概要は

問 水産振興の修繕料402万円は、航路浚渫であるが、場所などの詳細内容と実施時期は。

答 1点目は、琵琶瀬航路瀬戸の浚渫で、延長100㍎・幅10㍎で287万円。2点目は、新川航路の浚渫

で85万円。3点目は、湯沸にある町有干場の補修で17万円である。

いずれも、棹前コンブ漁の前に実施予定である。なお、琵琶瀬航路は4月に場所などに関し、利用者と再度協議する。

ふるさと納税サイトの増設は

問 ふるさと納税手数料22万円および支援業務委託料1310万円の内容と本町の返礼品として人気が高いものは。

また、根室市のふるさと納税額が約50億円と道内一であるのに対し、本町は1億円と低迷している。

地場産品を増やすのは容易でないと思うので、現在ある返礼品をPRするためサイトの数を増やすべきでは。

答 手数料の内容は、ヤフー公金支払いサービスを利用するふるさと納税見込み額6千万円の手数料で65万円。楽天サイトの利用システムは納税見込み額4千万円で157万円。

ふるさと納税の支援業務委託料の内訳は、ふるさとチョイスのサイト掲載料として年額約5万円と納税見込み額1億円の10%を委託料としており、納税額が増

えれば委託料も加算される。もう一つの楽天は納税額4千万円の7%に消費税を加え、305万円程。合わせて1310万円を予算計上している。

本町の返礼品は108点であり、人気はチーズ類のセット、水産物ではウニが主で最近ではハーゲンダッツのアイスクリームも利用されている。

現状はふるさとチョイスと昨年11月から利用の楽天ふるさとの2つのサイトでPRしている。

サイトの増設に向けては、30年度の結果などを検証して早々に結論を出したい。



人気のウニ



航路浚渫される瀬戸

茶内支所改修工事の概要は

問 茶内支所の改修工事2860万円の内容と工期は。

答 工事内容は、耐震補強を行うもの。また、利便性を考慮し、玄関ホールおよび窓口カウンターも改修する。工期は6ヶ月を予定している。

工事期間中の業務は、農林課は2階の消防事務室を借り、農業委員会は森林組合事務所に移るが、窓口業務は1階で行う。

将来の交通網計画は

問 浜中町地域公共交通活性化協議会補助961万円の内容及今後協議会の工程は。

また、いつ頃に結論が出せるのか。

答 協議会へ諮る前の具体的な案を検討する専門部会を立ち上げており、その専門部会年4回分の委員報酬・費用弁償で35万円程。公共交通網形成計画策定委託業務を610万円程見込んでいる。

現在、専門部会で検討し実証運行を10～12月までに行う資金で約300万円。その他は事務雑費で合計961万円の計上。

実証運行の結果を踏まえ、平成31年度中に形成計画案を作成する予定。

AEDの購入内訳と救急搬送の実績は

問 救命対策費の231万円で購入するAEDは何台で、新規か更新か。また、平成30年の救急車



最新装備の救急車

による搬送件数とドクターヘリの要請・搬送実績および浜中消防署の救急救命士の人数は。

答 AEDの購入は、新規配備で、霧多布、茶内、散布、浜中、姉別の5保育所と避難所の「かぜて」を加え6台を購入。

救急搬送の実績は、平成30年の1～12月までの浜中消防署の救急出動件数は272件、搬送人員は249人。ドクターヘリの要請件数は29件で、そのうち搬送が19件、キャンセルが3件、出動できなかった件数が7件である。

浜中消防署には27人の職員がおり、そのうち、12人が救急救命士の資格を持っている。救急車は、最低1人の救命士の乗務が必要であり、それに沿った対応をしている。

可燃ごみ処理契約は

問 根室市へ搬入している可燃ごみ委託料の内容と今後の契約は。

答 根室市へのごみ処理委託料はトン当たり2万3868円。焼却灰の処理はトン当たり5400円で前年同額である。ただ、10月から消費税が10%に上がる予定であり増額となる。

なお、根室市への可燃ごみ搬入量は、ほぼ横ばいであり、根室市の焼却施設の維持補修費の状況にもよるが、今後の契約は根室市と協議し複数年契約を考えている。

議会を傍聴してみませんか！

次の定例会は6月上旬の予定です。

茶内ふれあい広場への 遊具設置は

問 遊具設置等工事1450万円の内容は、また、設置の時期はいつ頃か。

答 児童用コンビネーション



霧多布児童公園の複合遊具

ン遊具を茶内ふれあい広場へ設置するもので、イメージは、霧多布の児童公園にあるような複合遊具である。設置する地面はゴムチップ舗装とする。工事期間は約2カ月必要で、できるだけ早く設置したい。

野いちごの運営実態は

問 浜中福祉会への補助金の内容と介護職員確保の実態は。

また、経営状況と介護度別入所者の内訳さらに待機者数と介護従事者数は。

答 補助金の

内訳は、本部事業費212万円、施設備品費504万円、処遇改善費567万円である。

職員の確保は、新採用者4人を雇用することができ、入所者も1月の40人から3

月で45人になった。引き続き処遇改善をPRし募集に努めたい。

また、野いちごの経営状況は、50床の満床ではないが町からの補助金などの支援を受け、健全経営に努めている。入所者の介護度別

の状況は、介護度2は1人、介護度3は8人で介護度4が15人、介護度5が21人の計45人。入所希望待機者は2月末で37人である。介護職員は23人であり、現在も募集している。



楽しい野いちご祭り

スポーツ大会の避難マニュアルは

問 町民体育祭実行委員会

へ36万円の補助であるが、行政が主催する大会や記録会への参加者はどれくらいか。

また、大会時に地震災害などが起きた際の避難マニュアルは。

答 行政が主催する大会は、水泳大会、駅伝大会、スケート大会、フットサル大会となる。

このほか各団体が主催する大会が10大会あり、平成30年度の町民体育祭参加者は499人。

現在、避難マニュアルは作成していない。今後、各施設、大会それぞれの避難マニュアルを関係部局と協議し作成したい。



町民マラソン大会（総合グラウンド）

霧高入学生増への取り組みは

問 霧多布高校は、海外交流派遣300万円・国内視察研修112万円・生徒スキルアップ106万円など町補助を活用して特色ある事業を実施している。

さらに「浜中学」を平成25年度から取り入れ、着実に生徒の能力向上につながっている。

ただ、31年度入学者数が21人で1間口となる。小中学校との連携や霧高の特色をPRし、生徒数の増加を図る必要があると思うが。また、スキルアップのメニューにドローン操縦を加える考えは。

答 授業公開週間・体験入学・校長会でのプレゼンの実施や「霧高だより」を中学3年生に配布。さらには学校訪問時に霧高の特色をPRするなど入学生確保に向け取り組んでいる。

ただ、今年の全中学卒業生が50人と少なかったこと

もあり、21人の入学となった。過去6年間の推移は左表のとおり。

今後は今までの取り組みに加え、浜中学発表会への参加促進や小中学校で実施している「ふるさと学習」と「浜中学」との結び付きを体系化するなど霧高への入学増に向け、取り組みを強化して行く。

また、ドローン操縦のメニュー化は検討したい。

年度(年)	25	26	27	28	29	30	31
中学卒業数(人)	47	60	52	72	62	62	50
霧高入学生数(人)	18	33	29	32	33	36	21
霧高進学率(%)	38.3	55	55.8	44.4	53.2	56.5	42

公営住宅の解体・建設計画は

問 公営住宅解体に係る実施設計委託料450万円は、浜中A団地・茶内A団地と

の説明であるが、具体的な

内容と解体後の建設計画は、また、解体工事実施設計



30年度新築された浜中団地

を業務委託するのではなく、職員で作成することは。さらに、建設事業にPFI方式を導入する考えは。

答 公住の建設・解体事業は国の補助事業である社会資本整備総合交付金を活用し計画に沿って実施している。

浜中地区は、前年と同じ敷地に1棟4戸の平屋が新築となり、32年度に既存の古い4棟を解体する予定である。

茶内地区は、コミセンの向いにある9棟の内5棟を32年度に、残りの4棟を35年度に解体する予定。跡地に33〜38年度までに1棟4戸の2階建全6棟を順次建設する計画である。

設計業務は、技術的に職員で対応できる内容であるが、技術職が2人であり新庁舎建設に係る業務も立て込んでいることから業務委託したもの。時間的に対応可能も含め課内で再度検討したい。

また、PFIの導入については、国庫補助要綱を精

査し協議・検討したい。

※PFIとは、さまざまな形態はあるが、行政が民間企業の資金・経営能力・技術力を活用して公共施設を整備するなど住民サービスを実施するもの。

茶内小のトイレ改修は

問 補修工事

5321万円の内容と工期および授業への影響は。

また、水洗化されていない浜中小学校の改修は。

答 現在簡易水洗であるトイレを全て水洗化するもので、便器の洋式化をはじめ床などのトイレ環境の改善を図るもの。工期は7〜10月までの4カ月で夏休みを利用し学習に影響がでないようにする。

なお、浜中小学校のトイレ改修は、平成32年度に実施したい。

その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
ふれあい交流・保養センター管理運営負担金（指定管理料）	3204万円
茶内保育所新築工事（2ヵ年継続費の2年目）	9052万円
新川船揚場整備事業（河口導流堤改修4ヵ年計画の3年目）	5000万円
公営住宅新築工事（浜中団地）	1億4000万円
町民温水プール改修工事（2ヵ年継続費の2年目）	1億4337万円

その他の予算関連
審議(抽出)

- * 地域おこし協力隊複数募集の考えは
- * 滞納整理機構への引き継ぎ実績は
- * 会計年度任用職員処遇の内容は
- * 地域活動支援センター活動内容の周知は
- * 特定疾患通院交通費助成減の内容は
- * 子ども・子育て支援事業計画の内容は
- * 斎場修繕料の内容は
- * 湿原モニタリング調査成果の公表は
- * 農業委員会委員欠員の補充は
- * 浜中姉別地区道宮農道整備事業の今後の予定は
- * 国直轄港湾整備事業今後の予定は
- * 安心に住まいる促進事業の実績は
- * 既存住宅耐震改修費補助の実績は
- * 茶内水防倉庫購入の内容は

条例の改正を議決

□ 学校設置条例の一部改正
・ 茶内第一小学校が3月末で閉校となったので、条例の規定から削るもの。

□ 保育所条例の一部を改正
・ 茶内保育所改築工事が5月20日をもって完了し、6月1日より供用開始となることから、保育所の位置および定員を改正するもの。
定員は、60人から80人に改正。

補正予算を議決

一般会計は、財政調整基金積立金4275万円、除雪業務委託料4000万円の追加。茶内保育所改築工事の確定により1億5226万円を減額するなど年度末における事業費の確定および実績による減額で、予算総額を81億6879万円とした。
特別会計、企業会計とも平成30年度実績見込みに基づく補正。

第2回臨時会
(2月15日開催)

一般会計補正予算で霧多布海岸防潮堤嵩上改良事業費6億9600万円を議決。
主な事業内容は防潮堤の嵩上で延長1778^{メートル}、嵩上高90^{センチメートル}。陸間改良工事でアルミゲート4基を更新。
財源は国庫支出金3億6500万円と町債3億3100万円である。
また、年度内に事業が完了しない見込みから、31年度への繰越明許事業となる。

第3回臨時会
(3月28日開催)

- 霧多布海岸防潮堤嵩上改良工事(第1工区)
(契約先) 株今井建設
(契約金額) 1億1059万円
(工期) 平成32年3月16日
- 霧多布海岸防潮堤嵩上改良工事(第2工区)
(契約先) 有石橋組
(契約金額) 9147万円
(工期) 平成32年3月16日
- 霧多布海岸防潮堤嵩上改良工事(第3工区)
(契約先) 株丸物出口興産
(契約金額) 8607万円
(工期) 平成32年3月16日
- 霧多布海岸防潮堤嵩上改良工事(第4工区)
(契約先) 赤石建設(株)
(契約金額) 7538万円
(工期) 平成32年3月16日

固定資産評価審査委員の
選任に同意

加藤俊美氏、松村嗣弥氏は、加藤氏が2月28日、松村氏が4月4日付で任期満了となることから、引き続き適任と認め、選任に同意しました。



加藤 俊美氏
(渡散布)



松村 嗣弥氏
(霧多布)



議事事務局長に
渡邊 馨氏が就任
いたしました。
(4月1日付)

委員会レポート

◆調査の概要

○婚活支援の取り組み

本町は、これまでさまざまな婚活支援の対応を講じてきたが、期待された実績を得るまでに至っていない。昨年、商工会が東京都の

結婚を応援する体制を構築するのに何が必要か

「首都圏女性と浜中町男性の交流ツアー」を企画した業者から有効な婚活支援策を学ぶ。

総務経済 常任委員会

(株)ピオラに企画・開催を依頼した「首都圏女性と浜中町男性の交流ツアー」では11組のカップルが成立した。このツアーには首都圏から16人の女性と町内の16人の男性が参加した。

イベント初日に首都圏女性の来町し、迎えた浜中町の男性との緊張感・距離感を和らげるため、共同作業によるカレーライスづくりを行った。夕食はバーベキューで、この時点で互いに打ち解け積極的にコミュニケーションがとれる状態となった。

翌日はバスで町内の観光スポットを巡り、さらにコミュニケーションを深め、最後は湿原センターでフリータイム。その後マッチングを行った結果11組のカップルが成立した。

担当者の意見は、イベントとして成功例と考えるが、

費用も嵩むため毎年の開催は難しいとのこと。費用対効果などを考えると、相談員が常駐する「縁結びセンター」の開設や、全国の結婚相談所とのネットワークの構築などが現実的である。

◆調査意見

○「首都圏女性と浜中町男性の交流ツアー」において11組のカップルが成立し、連絡を取り合ったり、相手の自宅を訪れたケースも報告された。本町の婚活支援に一筋の光明が射したと感じている。

しかしながら、イベントの開催だけでは成婚に至る可能性は乏しく、継続的なサポートができる「(仮称)はまなか縁結びセンター」の設置が必要であるが、婚活サポートのノウハウを持たない行政による運営ではなく、婚活に必要なレッス

ン、指導、イベントの開催などに長けた民間事業者の活用を検討すべきと考える。

担当者によると、地域振興サポート事業の拠点として、道東支社の設置も検討

しているの
で「はまなか縁結びセンター」の運営委託の可能性も考えられる。

さらに、全国の結婚相談所との連携を結ぶことよ
って、結婚希望者のデータベースを活用でき、きめ細かなマッチングも可能となる。

また、婚活支援の手法のあり方も重要であるが、結婚希望者本人はもとより家族など関係者の本気度・真剣度を高めな

がら維持することが大切である。さらに、住んでみると思えるような魅力あるまちづくり計画と関連させながら進めることが重要である。



(株)ピオラを招いての委員会

全員協議会活動レポート

議会には、2つの常任委員会（総務経済・社会文教）があり、所管事項の調査活動をしているが、議長が主宰する全員協議会で協議検討している事項の報告をします。

＝役場新庁舎建設の動向＝

○新庁舎関連各種工事の発注状況

□役場庁舎建設工事（建築主体工事）

（契約先）丸彦渡辺・赤石・村井経常建設共同企業体
（契約金額）14億9644万円
（工期）平成32年11月25日

□役場庁舎建設工事（電気設備工事その1）

（契約先）高部・矢原・中原経常建設共同企業体
（契約金額）2億412万円
（工期）平成32年11月25日

□役場庁舎建設工事（電気設備工事その2）

（契約先）サンエス・北電・浜中無線経常建設共同企業体
（契約金額）1億2636万円
（工期）平成32年11月25日

□役場庁舎建設工事（空調換気設備工事）

（契約先）三建・太平洋経常建設共同企業体
（契約金額）3億6158万円
（工期）平成32年11月25日

□役場庁舎建設工事（給排水衛生設備工事）

（契約先）池田・榊経常建設共同企業体
（契約金額）1億2528万円
（工期）平成32年11月25日

□防災貯留槽建設工事

（契約先）赤石建設株式会社
（契約金額）2億5002万円
（工期）平成32年7月30日

□防災貯留槽建設工事（設備工事）

（契約先）サンエス・北電・浜中無線経常建設共同企業体
（契約金額）8424万円
（工期）平成32年7月30日

（今後発注予定）

○地中熱利用設備1期工事
予算額3億9451万円

※新庁舎建設工事が安全に速やかに行えるよう3月28日に工事安全祈願祭が関係者列席のもと実施されました。



工事の安全を願って

一般質問

川村 義春 議員



その後どうなった 一般質問検討のゆくえ

検討結果は継続も含め 左記のとおり

問

答

の駅」構想を入れて進めるのか明らかにすべき。

町長 29年10月4日に産業団体代表者4人と協議検討した。道の駅自体の構想と考え方には反対しないが慎重に時間をかけてと言われている。事実上凍結状態にある。総合計画に入れるか時間をかけて検討したい。

川村 津波避難タワー建設は、M GロードのY字路改修と寿磯橋までの複線化を優先し、その後の検討と答弁あり。道道改修の道筋が見えたので、避難タワーの建設や救命艇の配備を6期総合計画に反映を。

町長 Y字路改修は、順調にいけば単年度で工事が完成する。複線化は、歩道を撤去し幅広路肩を設け、避難時は2車線走行を可能とする計画であるが完成年度は示されていない。避難困難地域の避難タワーや救命艇の有効性を専門家からアドバイスを受け、見直す予定の地域防災計画・総合計画に反映させていきたい。

川村 光回線による高速通信網の整備は6期総合計画

の重点事業とするとしていたがその後は。

町長 F W Aを整備したことで、補助が使えない状況であったが、平成31年度から新たな補助制度が創設された。光回線の整備も補助事業として採択される可能性があるがあるので道通信局と協議したい。次期総合計画に盛り込むことも検討する。

川村 景観条例制定と景観計画策定は進めたいと答え

ているがいつになるか。

町長 景観行政団体の指定を考えているので一定程度の時間を要す。

川村 空き家等解体支援の制度設計は固まったか。

町長 空き家等対策協議会で協議する素案は、対象物件・補助対象者を設定し、解体工事は町内業者を指定。補助金額は、補助対象経費の2分の1で上限は50万円。



高知県黒潮町佐賀地区の津波避難タワー

川村 これまで検討事項とした質問を検証する。昆布干し体験で滞在費を稼げる空き家バンク開設は。

町長 浜中町創生総合戦略では検討に至らなかった。

川村 長期滞在者への「お試し住宅」は空き家バンクの前哨として期待。現状は。

町長 3月から秋口まで予約で埋まっている。

川村 6期総合計画に「道

一般質問

田甫 哲朗 議員



問 霧中・高の避難対策は

答 屋上への避難も検討中

田甫 学校は集団での行動であり、現避難計画は時間的にも脆弱なものと思う。新庁舎完成後に、避難先を湯沸山に変更する考えは。
町長 現在、地震津波に特化した防災計画を策定中である。専門家からのアドバイスを受け、複数の避難計画が必要とことから霧高屋上への避難など、さまざまな観点から検討し計画づくりを進めて行く。

問 林業担い手対策は

答 入学助成制度を 検討

田甫 町内の林業木材産業における担い手対策と道立林業学校との連携は。

町長 人工林の利用期を迎える中、林業労働者は高齢化・人材不足の状況にある。担い手確保推進協議会を設立し、「林業お試しフェア」や「高校出前講座」を

町内で実施するなど対策に取り組んでいる。また、担い手育成を目的に来年旭川で開校する「道立北の森づくり専門学院」への入学助成制度の創設なども検討したい。

問 町有地の売却は

答 公平な 制度づくりから

田甫 民有地での住宅・アパート建設が進む中、町有地の場合には賃貸契約となっている。将来的なことを考えると売却すべきでは。

町長 宅地として利用できる遊休町有地が点在していることから、公平公正な

ルールを策定し取り組んで行く。

問 企業・事業所の 誘致は

答 有益と思えば 前向きに

田甫 近隣町村では、野菜栽培施設・ウイスキー工場・バイオマス発電施設・日本語学校など分野を問わず企業誘致に取り組んでいる。人口減対策からも商工会

と連携し、規模に関係なく新たな企業・事業所などの誘致活動が必要では。

町長 企業振興条例に基づいた固定資産税の優遇措置や中小企業特別融資制度などにより事業所への支援を実施している。

町に有益な提案・申し出があれば積極的に支援・協力して行く。



高校屋上への避難も

一般質問

加藤 弘二 議員



問

「土曜・ひる市・直売所」
を提案したい

答

貴重な提案と受け止める

加藤 「道の駅」構想が進まない原因は何か。
町長 厚岸町・根室市に比べ人口および観光客の入込数も（冬場は特に）少ないので慎重に検討している。

加藤 この構想は、町長と農協・漁協2団体・商工会で協議しているところに問題があると思う。いい案を出すには、町民の参加を得て知恵と力を集めることが大切だと思う。

浜中町の誇るべき産物を「売り」にして、「土曜ひる市・直売所」を開設することを提案したい。
売り手は、町民個人またはグループで参加。買い手も町民。内陸の人は浜で採れたアサリ貝、ホッキ貝、ニシンやカレイを買うことができ、海辺の人は、旬の山菜や農家手づくりの各種野菜を買うことができ、町民の8割がお客の「ひる市」とする。

ひる市は、農村では搾乳、漁村では昆布採りがあるので午前10時30分から、午後2時30分頃まで開設。
浜の売り物の目玉は、全道一美味しいホッキ貝。姿売り良し、フライなどさまざま調理ができる。特に町民の作る「ホッキごはん」は厚岸の「牡蠣弁当」や長万部の「かに飯」と並ぶ。また、浜の母さんたちが作り続けている「飯^い寿司」は、本物の味で最高。農村の誇れる売り物は何か。
町長 農村には、美味しい牛乳があり、手づくりしているチーズやベーコンがある。野菜は大根、白菜、漬物もある。



ホッキ貝の水揚げ

加藤 ひる市は、農家や漁家だけでなく、一般の主婦も出店に参加できる。場所は茶内地域で、農村30店、漁村30店くらいでひる市運営委員会で協議した「要望書」を町長に提出し、開設する案でどうか。
町長 町民個人やグループ参加でとのことだが、保健所の許可が必要になるので産業団体や商工会の下で食品を売ることになる。

一般質問

成田 良雄 議員



問 観光客の避難対策は

答 防災計画で定めている

成田 多くの観光地を有する日本では、観光業は主要産業となっている。「観光立国」の実現を目指しているが、多言語での災害・交通・避難情報が十分でないなど、災害時の対応に大きな課題が残されている。町における観光客（外国人観光客を含む）に対する防災や、災害時の避難体制は。

町長 地域防災計画では災害の危険がある場合は、地域の住民、居住者、滞在者その他の者に対し、避難のための立ち退きを勧告または指示をする。観光客に対しても、指定区域内に滞在する場合は、避難場所・避難経路など避難対策を定めている。

問 小児がん対策は

答 乳児検診で早期発見

成田 日本では小児の死亡原因の第一位はがんとなっている。小児がんの患者と家族は、発育や教育への対応など成人のがん患者とは異なる課題を抱える。

小児がんの早期発見のための取り組みは。

町長 お子さんの発達の確認、疾病の早期発見を目的に、乳児健診を実施している。検診では小児科医師がお子さんを診察し、その結果によっては、医療機関への受診を促している。

問 学校にエアコン設置を

答 窓を開けるなどで対応

成田 国では、全国の公立小中学校などの普通教室全てにエアコンを設置するための事業費用が盛り込まれた。熱中症対策のみならず、

子どもの学力や集中力の向上など、教育環境向上の効果が期待できる。

町として取り組み考えは。
教育長 地域的に事業実施するほどの暑さではなく窓を開けるなどで対応していく。



避難誘導の看板

一般質問

秋森 新二 議員



問 教職員の住宅環境の 早急な改善を

答 今後とも計画的に 対応したい

秋森 本町児童生徒の教育環境向上を図るためには教職員の生活の質の向上、特に住環境の整備が重要と考えるが、教職員住宅の老朽化が見受けられる。
入居状況、利用者ニーズの把握など現状認識は。
教育長 教職員119人のうち、町内教職員住宅に63人、自宅10人、借家23人、町外からの通勤が23人。

予算要求前の要望調査、学校訪問時の聞き取りなどのほか、霧多布高校では教員で組織する「住宅委員会」によってニーズの把握に努めている。
古い教員住宅の一部では、浴槽が狭く深い、ガス釜の使い勝手が悪いなどの声も聞いており、ユニットバスなどの一般的な住環境に比べ、決して快適ではな

い部分もあると捉えている。
秋森 今回、散布の教職員住宅を見たが、深く狭い置型浴槽の横にガスボイラーが直置き。このボイラーも性能が低く、シャワー使用中に冷水になったり、湧き上がりに1時間近く要するため冬場はガス代が2万円近くなるなど、若い先生方には大変重い負担となっている。



使い勝手が悪い浴室

また、畳に穴があき、じゅうたんを敷いて凄い（ひどい）でいたり、フローリングが傷んで拭き掃除ができないとの声も聞く。
さらに、換気扇がついていないため室内にカビが繁殖し健康被害も心配される。これらに関する認識と今後の対応は。

教育長 聞き取り中心の要望調査であるので、細部にわたって把握していたとは言い難い。

今後は入居中の教職員住宅を直接見るなど、きめ細かな対応を心掛けたい。

浜中町へ赴任した先生たちが、住環境を劣悪なものとして捉え、ひいてはその熱意・誠意までも削いでしまうことはあってはならない。

しかし、古い建物もあるので、全てを同時期に改修は不可能だが、入居する教職員の要望をしっかりと捉え、優先順位を決定し、最も効果的な方法で改修したい。

なお、高校住宅は平成25年度から灯油給湯器への取り替えを実施し、全14戸が30年度で終了した。

雪中翠

〔浜中学〕を学んで

霧多布高等学校
平成30年度卒

田中 春菜



3年間で一番印象に残っている『浜中学』の授業は、6月に実施された羅臼高校

子どもの夢を育て
幸せなまちをつくりましょう。
(町民憲章より)



春を告げる福寿草

との地域学交流会です。普段、他の学校の生徒と交流する機会が少ないので、他の学校の生徒から見た浜中町や浜中学の印象を知ったり、羅臼高校が取り組んでいる『知床学』に関する発表を通して羅臼町について学ぶことができたりと、私にとって良い経験となりました。

また、それぞれが調べた内容をまとめ発表する機会が多くあったので、相手に伝わりやすい発表にするための工夫などを実際に体験しながら学び、発信力を身に付けることができました。

10月には、3年間の集大成として浜中学の報告会が実施されました。今年度の3年生は「防災」をテーマに、グループ毎に今まで学習した内容をまとめたり、新たに調査したりして、準備から発表までみんなで協力して行いました。私は、他の自治体の防災対策について調べました。どの自治体について調べ、比較するのかが検討し、ホームページなどから知りたい情報を集め、わかりやすくまとめる作業を、メンバー5人で行いました。

東日本大震災で、唯一死者行方不明者がゼロの自治体である岩手県洋野町では、お年寄りや体の不自由な方への避難協力を自治体で呼びかけていたり、自主的な組織が避難経路の整備や防災意識を高揚する活動をしたりしていることなど、新たな発見がたくさんあり、浜中町にも活かすことができると思いました。報告会当日は、練習を繰り返し、改良を加えた成果が発揮できた良い発表になったと思

います。
浜中学をとおして学んだこと、経験したことを、これからの生活に活かして、自分の能力をより高めていきたいと思えます。

- 揮毫 書道部2年A組 若山 瑛奈さん
- 読み方 せっちゅうすい
- 意味 何事にも動じない心



表紙の写真

4月3日にへき地保育所の入所式が行われました。

浜中保育所では、17人の子どもたちが新たな一歩を踏み出しました。今年の新規入所児童は4人。いよいよ始まる保育所生活に小さな胸は期待と不安で一杯でしたが、保育士の呼びかけに大きな声で返事をしていました。

笑顔いっぱい保育所生活を楽しんでくださいね。

あとがき

道東にもようやく春かと思いきや彼岸荒れの前ぶれが。湿原センター近くの斜面に春を告げる福寿草が咲いたとの便りが寄せられています。

4月、町内各小・中・高等学校では入学式が行われピカピカの新入生が見られます。毎年この時期に通園、通学時に交通安全運動が実施され、交通事故防止や「事故死ゼロ」の日継続をめざした指導が行われます。

また、湯沸山では新庁舎の建設敷地造成が進み庁舎建設の本体工事も本格的に進められています。内陸では牧草の新芽が出始める頃、海沿いは海明けとなり沖合漁業や昆布漁の準備に忙しくなります。何はともあれ、今年も豊漁豊作を願いたいと思います。

(委員 前田)